



International Institute
of Business Analysis

CBAP[®]

Certified Business Analysis Professional[™] (CBAP[®]) Handbook

CBAP[®]ハンドブック

2009年11月

IIBA[®]日本支部からのご注意

- 本書は、IIBAの本部のWebサイトからダウンロードできる“CBAP[®] Handbook”（2009年11月版）を、本部の許可を得てIIBA日本支部が翻訳した参考訳です。本部のWebサイトの情報は予告なく変更されることがありますので、最新情報は必ず本部のWebサイトで確認してください。
- 本文書では、以下のように表記しています。
CBAP[®]認定 (CBAP[®] certification) : 出願書類審査とCBAP[®]試験の両方を表す。
CBAP[®]試験 (CBAP[®] examination) : 出願書類審査をパスした後の試験のみを表す。

目次

目次	2
1.0 当ハンドブックについて	3
2.0 IIBAについて	3
2.1 IIBAのビジョン	3
2.2 IIBAのミッション	3
2.3 公平かつ公正のポリシー	4
3.0 IIBAのBABOK®ガイドの概要	4
4.0 CBAP®認定について	4
4.1 CBAP®認定とは	4
4.2 CBAP®認定プログラムの概要	4
4.3 CBAP®認定のメリット	5
4.4 ビジネスアナリシスの専門家の定義	5
4.5 機密情報の保護	6
5.0 CBAP®認定の資格要件	6
5.1 業務経験要件	6
5.2 知識エリア要件	8
5.3 学歴要件	9
5.4 専門能力開発要件	9
5.5 推薦状要件	9
6.0 CBAP®認定プロセスの概要	10
6.1 受験キャンセルポリシー	13
6.2 試験対策のアドバイス	13
6.3 試験当日の手続き	14
6.4 試験結果の通知	14
6.5 CBAP®認定の授与	15
6.6 CBAP®試験の再受験	15
6.7 CBAP®認定の維持と資格更新	15
6.8 CBAP®認定の停止または取消し	15
6.9 応募者とCBAP®資格保有者の情報に対する監査	16
6.10 異議申し立ておよび苦情への対応	16
7.0 専門家としての職業責任	16
7.1 組織のすべてのルールとポリシーの順守	16
7.2 専門家としてのプラクティス	16
7.3 専門職の地位向上	17
7.4 クライアントと社会に対する責任	17

1.0 当ハンドブックについて

目的

当ハンドブックの目的は、International Institute of Business Analysis（以下、IIBA®）の組織と、Certified Business Analysis Professional™（以下、CBAP®）認定プロセスを理解するために必要な情報を、CBAP®認定の応募者に提供することです。

2.0 IIBA について

IIBAは、ビジネスアナリシスの啓蒙を行う非営利団体です。そのミッションは、ビジネスアナリシスの実践に関する標準の開発と保守、およびビジネスアナリシスを実践する人々の認定と承認をすることです。IIBAはビジネスアナリシスの専門家を公式に認定する最初の組織です。

ビジネスアナリシスの社会における認知度の向上と、有能な実践者の認定を進めるために、IIBAは次のことを行います。

- ビジネスアナリストの価値とその貢献について、一般への周知と認知度の向上
- Business Analysis Body of Knowledge®（以下、**BABOK**®）の定義と保守
- ビジネスアナリシスの資格保有者に必要なスキルと能力の識別
- 教育・訓練と専門能力開発の標準の定義
- 研修機関の識別と承認
- 有能なビジネスアナリストの公的な認定と承認

また、IIBAはすべての会員に対して、次の便益を提供します。

- 他のビジネスアナリシス専門家との交流の場の提供
- ビジネスアナリシスの専門的職業性とサービスに影響を与え貢献する機会の提供
- フォーラムに参加することにより、専門知識を共有し、専門家としての意見を表明し、業界における名声を確立する機会の提供

IIBAは2003年10月に組織として立ち上がり、2004年3月に初めて開催した年次総会で、正式に創設を決めました。カナダのトロントに本部を置き、Webサイトwww.theiiba.orgを運営しています。

2.1 IIBAのビジョン

IIBAのビジョンは、ビジネスアナリシス専門家のために世界で指導的な団体となることです。

2.2 IIBAのミッション

IIBAのミッションは、ビジネスアナリシスの実践のための、そして実践者の認定のための標準を開発し、それを保守することです。

2.3 公平かつ公正のポリシー

IIBA は、認定と審査の実施・監視・評価・保守を、公平かつ公正に行うポリシーと手続きを定めています。IIBA は、米国障害者差別禁止法を含むすべての適用法規制を順守しています。

3.0 IIBA の *BABOK*® ガイドの概要

BABOK® *ガイド* は、ビジネスアナリシスの専門的職業性に含まれる知識を集大成したものです。ここには、今日広く認知されているプラクティスが反映されています。*BABOK*® *ガイド* を定義して、さらに拡張するのは、それを日々の業務で活用しているビジネスアナリシスの専門家の方々です。*BABOK*® *ガイド* は、ビジネスアナリシスの知識エリアと、それに関連するアクティビティとタスク、さらに、それを有効活用するために必要なスキルを記述しています。

BABOK® *ガイド* は、日々成長し、進化しています。したがって、各リリースは完全な知識体系に一步步近づくものであると考えてください。フィードバックを受け、一般に認知されているプラクティスの変化に応じて、定期的に拡張します。ビジネスアナリシスに関する特定のテクニックを *BABOK*® *ガイド* で言及する際は、そのテクニックが実証されているか、一般的に受け入れられているか、広く使われているか、ということに基づいて採用します。こうして作成された *BABOK*® *ガイド* は、ビジネスアナリシスの専門知識の参考資料であると同時に、CBAP® 認定の基礎となるものです。

BABOK® *ガイド* は、6つの知識エリアと基礎知識から構成されています。詳細については、Webサイトの *BABOK*® の項目を参照してください。

4.0 CBAP® 認定について

4.1 CBAP® 認定とは

専門性の認定にはいろいろな定義がありますが、一般的には、認定機関が個人の知識、経験、スキル、専門知識を承認することです。

所定のスキルや知識を持つこと実証して能力を証明し、それが公式に承認されると、認定されたこととなります。

ビジネスアナリシス専門家の認定は、ビジネスと IT にかかわるプロジェクトの中で重要性を増しています。そして、必要となる専門知識の範囲も深さも拡大を続けています。

CBAP® 認定プロセスでは、ビジネスアナリシスの資格保有者となるために必要な経験、知識、能力を、IIBA が指定する資格要件として提示しています。

4.2 CBAP® 認定プログラムの概要

CBAP® 資格保有者とは、組織のビジネスニーズを識別して、ビジネスに適したソリューションを決定できることを認められた専門家です。そして、成功するプロジェクトに欠かせない要素とし

て評価が高まりつつある役割を果たす能力を持つ専門家であると認められています。

CBAP®認定プログラムは、個人の能力認定の規格であるISO17024に厳密に準拠するように設計されています。当プログラムも、ISO 17024の認証を取得する予定です。

CBAP®認定を受けようとする応募者は、IIBAの会員である必要はありません。

応募者においては、出願プロセスは受験のための予備審査プロセスであることをご承知おきください。すなわち応募者は、出願の資格要件を十分に理解し、当ハンドブックでこの後説明する出願プロセスに精通する必要があります。

現在のCBAP®認定は上級のビジネスアナリストのみを対象としていますが、将来は、より下位のビジネスアナリストのニーズに応える認定を検討しています。

現在、CBAP®試験は英語だけで行われていますが、将来は他の言語にも対応する予定です。

4.3 CBAP®認定のメリット

CBAP®認定を取得および維持する個人には、次のようなメリットがあります。

- 能力のあるビジネスアナリストとして必要なスキルを持つことを示すことができる。
- ビジネスアナリシスの原則と実践における専門能力のレベルを証明できる。
- 承認された専門家のグループに参加できる。
- 専門家の仲間や経営陣から専門的な能力を認められる。
- IT業界とビジネス業界のそれぞれの中で明確なキャリアパスを構築することにより、さらなるキャリア向上の道を開くことができる。
- ビジネスアナリシスの専門職の地位向上に対する貢献を示すことができる。

CBAP®資格保有者を雇用する組織には、次のようなメリットがあります。

- CBAP®資格保有者は、成功するプロジェクトに欠かせない要素として評価を高めつつある役割を果たす能力のある専門家であると認められる。
- CBAP®資格保有者は、上級レベルの知識と資格を持つ専門家であると認められる。
- CBAP®資格保有者は、IIBAのBABOK®ガイドが示す確立された標準に従うことができる。
- CBAP®資格保有者は、信頼性が高く高品質の成果物を、より効率的に一貫性をもって作り出すことができる。

4.4 ビジネスアナリシスの専門家の定義

ビジネスアナリシスの専門家は、クライアントとステークホルダーのビジネスニーズを識別して、ビジネス上の課題に対処するソリューションの決定に貢献する役割を果たします。

さらに、要求の開発とマネジメントの責任を負います。これを具体的に言うと、ビジネスや組織、業務運用に関する要求を引き出し、分析し、その妥当性を確認して、文書化することです。ソリューションは、ビジネスアナリシスの専門家が前もって決めるのではなく、ビジネス上の要求だけを基準にして決めるものです。多くの場合、ソリューションはシステム開発のコンポーネントから構成されますが、プロセス改善や組織変革を含むこともあります。

ビジネスアナリシスの専門家は組織の重要なファシリテータであり、クライアントとステークホルダーとソリューションチームの間の架け橋となります。ビジネスアナリシスは、財務分析やプロジェクトマネジメント、品質保証、組織開発、テスト、教育・訓練、文書開発とは異なる作業です。しかし組織によっては、ビジネスアナリシスの専門家がこうした関連機能の一部または全

部を実施することもあります。

4.5 機密情報の保護

CBAP®認定の出願書類と試験成績、その他CBAP®認定プログラムに関わるすべての情報は、内部で機密情報として取り扱います。応募者の同意なしに第三者に情報を公開することはありません。

第三者に対して試験の成績証明書を発行することを要請する場合は、どの成績を公開するかとともに、公開先の個人または組織を指定して、IIBAに文書で要請する必要があります。IIBAの機密保護ポリシーに対する違反は、懲戒処分の対象となります。IIBA規約でこれを規定しています。

公開の要請は、Webサイトwww.theiiba.orgに記載した宛先までお送りください。

5.0 CBAP®認定の資格要件

CBAP®認定に出願するには、応募者は以下に指定する資格要件を満たさなければなりません。

5.1 業務経験要件

過去10年以内に、*BABOK®ガイド*で定義されている知識エリアおよび基礎コンピテンシに沿ったビジネスアナリシスの業務に7,500時間（5年間）従事した経験があること。過去10年とは、出願日から遡って数えた年数とします。

ビジネスアナリシスの業務経験とは、応募者が直接実施した活動、あるいは、他者の実施を支援した活動であり、*BABOK®ガイド*の知識エリアおよび基礎コンピテンシに沿った活動でなければなりません。

次の活動は、要件として認められます。

- ビジネスアナリシスの実践（例：要求の収集、要求文書の作成など）。
- ビジネスアナリストに対する指導で、ビジネスアナリシス活動に関するもの（例：ビジネスアナリストとともに実施した要求収集プロセスの計画、要求文書のレビューなど）。

次の活動は、要件として認められません。

- ビジネスアナリシスの活動を直接に監督しない管理（例：リソース管理、進捗報告、パフォーマンス管理など）
- ビジネスアナリシスの教育・研修コースの講師
- 要求のツールやソフトウェアの販売
- プロジェクトマネジメント
- テスト（例：テストスクリプトの作成や実行、テストの進捗報告、テスト方針・テスト計画の作成など）
- プログラミング

上記は、すべてを列挙したものではなく、あくまでもガイドラインとして示したものです。応募者の業務経験は、ケース・バイ・ケースで個々に審査します。

下の表に示すのは、出願審査プロセスにおいてビジネスアナリストの業務経験要件を満たすと認

められるものと、認められないものの例です。ここに示したものがすべてではありません。出願書類に業務経験を記入する際の注意事項は、下記をご覧ください。

BABOK® ガイドの知識エリア	要件を満たす業務経験	要件を満たさない業務経験
ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 要求計画の作成とプロジェクト計画への組み入れ 要求リスクの識別と文書化 プロジェクトの進捗報告に対するインプットとなる要求進捗報告の作成 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト計画の作成 プロジェクトのリスクの識別
引き出し	<ul style="list-style-type: none"> 要求収集ワークショップのファシリテーション 	
要求のマネジメントとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 要求パッケージのウォークスルーとサインオフ 役員に対する要求のプレゼンテーションの準備と実施 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト週次報告の作成 設計ウォークスルーの実施
エンタープライズアナリシス	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス目的の決定 ビジネスアーキテクチャの構築 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト憲章の作成 システムアーキテクチャやアプリケーションアーキテクチャの構築
要求アナリシス	<ul style="list-style-type: none"> 機能要求 非機能要求 ユーザー要求 	<ul style="list-style-type: none"> SLA (サービスレベル・アグリーメント) の作成 ソリューション設計と文書化
ソリューションのアクセスメントと妥当性確認	<ul style="list-style-type: none"> 設計文書のレビュー、および要求との整合性の確認 テスト方針と、テスト計画、テストケースのレビュー、および要求との整合性の確認 品質保証とテストチームの支援 欠陥のレビュー、およびクライアントとの共同作業による以下の決定 <ul style="list-style-type: none"> 修正の優先順位 手作業による回避策の採用 	<ul style="list-style-type: none"> 設計文書の作成 テスト方針、テスト計画、テストケースの作成 テストの実行 欠陥の追跡とマネジメント

業務経験を記入する際の注意事項

1. 業務経験要件は、プロジェクト単位に、出願書類に次のように記入します。
 - 同一年に複数の小規模プロジェクトに従事した場合は、1プロジェクトにまとめる。そして、出願書類の「プロジェクト概要」の欄に、その旨を明記する。
 - プロジェクトは、最新プロジェクトを一番上にして、日付の新しい順に並べる。
 - 過去10年以内の、少なくとも7,500時間のビジネスアナリシスに関連する業務を、受験資格要件を満たすように記述する。
 - 履歴書は、業務経験要件としては認めない。
2. 出願審査の際に、業務経験として選択したタスクがBABOK®ガイドに沿ったものではないと判定されれば、その時間数はビジネスアナリシスの業務経験時間の合計から差し引かれます。この時間数は、参加プロジェクト時間のうちビジネスアナリシス業務経験には相当しないと自身で申告した時間数に加えられます。その結果、ビジネスアナリシス業務経験として必要とされる7,500時間に達しない、あるいは、6つの知識エリアのうち4つ以上の知識エリアで900時間以上の業務経験という要件を満たさずに、出願が却下されてしまうおそれがあります。したがって、出願の際には、ビジネスアナリシスの業務経験がBABOK®ガイドに沿ったものであり、合計時間数が十分なものであることを必ず確認してください。出願時に業務経験として選択したタスクの内容により、審査プロセスでその時間数が認められない場合があります。出願書類に記入しようとしているタスクがBABOK®ガイドに沿ったビジネスアナリシス業務経験として認められるものかどうか疑念がある場合は、必要最小限の7,500時間だけでなく、過去10年間のビジネスアナリシスの業務経験の内容とその時間をすべて記載することをお勧めします。
3. 出願審査の際に、応募者が選択した業務経験がBABOK®ガイドに沿ったものではないと判定された場合、その時間数は以下のように計算して差し引かれます。
 1. 記入された該当の業務経験の知識エリアの比率（パーセント）に、該当プロジェクトの業務経験の合計時間を掛け合わせて、該当知識エリアのビジネスアナリシス業務経験時間とする。
 2. そこから、該当知識エリアの全体の業務経験のうち無効な業務経験（BABOK®ガイドに沿っていないもの）に相当する比率（パーセント）の分を差し引き、その知識エリアの有効なビジネスアナリシス業務経験時間とする。
 3. すべての知識エリアで、これを繰り返す。
 4. すべてのプロジェクトの知識エリア内の有効なビジネスアナリシス業務経験時間合計を計算して、6つの知識エリアのうち4つ以上の知識エリアで900時間以上の業務経験という要件を満たしていることを確認する。（この要件に関しては、以下を参照のこと）
 5. 最後に、すべてのプロジェクトの有効なビジネスアナリシス業務経験時間合計を計算して、7,500時間以上の業務経験という要件を満たしていることを確認する。

5.2 知識エリア要件

BABOK®ガイドの6つの知識エリアのうち4つ以上の知識エリアに沿った業務経験と専門知識があること。BABOK®ガイドで定義された知識エリアに沿ったビジネスアナリシス業務に、少なくとも

900時間（6カ月間）従事した経験が必要です。

注）この6つの知識エリアのうち4つ以上の知識エリアで900時間以上という業務経験は、上記の業務経験要件で求められる7,500時間以上の中に含まれています。この要件により、知識エリアをまたがる幅広い業務経験を確認します。

5.3 学歴要件

高校卒業以上、またはそれと同等以上の資格を保持すること。

注）高等学校以降の学歴に対して、業務経験の年数を減らすことはありません。

5.4 専門能力開発要件

過去4年間で21時間のビジネスアナリシスの専門能力開発をしていること。専門能力開発は、出願日までに完了しているものでなければなりません。さらに、以下の基準を満たすものでなければ認められません。

1. 専門能力教育は、正式な大学コースと同様にモデレートまたはファシリテートされていなければならない（つまりそのセッションには、モデレータ、あるいはその教材を通してグループや個人を主導できるファシリテータまたはインストラクタが必要である）。
2. 測定可能な学習目標が必要である。またこれらは（振る舞いを変えたり、スキルを向上させたりする点で）ビジネスアナリストの役割に直接適用できるものでなければならない。
3. 特定のテーマに関する単なるプレゼンテーションであってはならない。
 - a. 受講生には、その題材と向き合う機会（質問できる、学習を意味のあるものにするなど）が必要である。
 - b. a.に加えて、そこで紹介するタスクや目標を実践する機会が必要である。
4. 対象分野は、BABOK[®]ガイドに対する場合と同様に、ビジネスアナリシスやその基礎コンピテンシと直接関係するものでなければならない。

注）IIBA認定コース（EEP[™]プログラムなど）は、上記の基準を満たすことを事前に確認済みです。そのため、最初の認定に必要なビジネスアナリシスの専門能力開発要件を満たすものとして必要な21時間に、自動的に充当することができます。

授業や参加時間の1時間が、専門能力開発の1時間に相当します。専門能力開発の時間の端数は、1時間単位の数の後に15分単位で加えて報告できます。1時間に満たない専門能力開発は、申請の対象外とします。

5.5 推薦状要件

応募者の上司、クライアント（内部、外部）またはCBAP[®]資格保有者のいずれかによる2通の推薦状があること。

さらに、次の要件があります。

- 現在のコンタクト先1名を含まなければならない。
- 応募者と知り合って6カ月未満の者を推薦者とすることはできない。
- 上司の定義は、応募者の年間の業績評価を行う責任をもつ者とする。

- プロジェクトマネジャーを推薦者とすることはできない。ただし、応募者の上司である場合は除く。その場合は、推薦状に両方の役割を果たしていることを明記すること。記載がない場合は、その推薦状は無効になる。
- 出願審査の対象となる推薦状は2通だけである。
- 応募者の責任において、期日までに確実に推薦状を提出しなければならない。推薦状はオンラインでも書類でも受け付ける。受験日を考慮して、また、必要に応じて推薦者へのフォローアップを行ったうえで、余裕をもって提出する。

6.0 CBAP®認定プロセスの概要

CBAP®資格保有者となるためのプロセスは、次のとおりです。

1. 第5節に記載した受験資格要件を満たしていることを確認する。
2. オンラインまたは書類で、出願書類に記入する（www.theiiba.orgを参照）。
3. 応募者がCBAP®資格保有者にふさわしいことを証明できる2人の専門家を推薦者として決める。各推薦者は、オンラインまたは書類で推薦状フォームに記入する。書類の場合は、“Candidate Reference Form”（推薦状フォーム）をwww.theiiba.orgからダウンロードして、各推薦者がその推薦状フォームに記入して封に入れ、封印をした上に署名して、応募者に渡す。
4. CBAP®の行動規範を順守することに同意する。オンラインでは、これが出願手続きの一部となっている。書類の場合は、www.theiiba.orgから“CBAP® Code of Ethical Conduct & Professional Standards form”（CBAP®の行動規範）をダウンロードして記入する。
5. 必要に応じて、“CBAP® Exam Special Accommodation Form”（CBAP®試験特別措置申込書）をwww.theiiba.orgからダウンロードして、記入する。
6. 出願書類一式を控えとしてコピーする。オンライン出願の場合は、任意のタイミングで画面の出願内容を閲覧・印刷する機能がある。出願手続きの際にIIBAへ提出したすべての書類は、一切返却しない。これらはIIBAの所有物とする。
7. 次のものを提出する。
 - a. オンライン出願の場合は、オンライン出願書類一式を送信する。記入済みの推薦状と、CBAP®の行動規範の順守への同意書を含む。
 - b. 書類による出願の場合は、以下の書類を提出する。
 1. 記入漏れのないCBAP®出願フォーム
 2. 記入して封をした推薦状2通
 3. 同意の署名と日付があるCBAP®の行動規範

c. CBAP®試験特別措置申込書（必要な場合）

身体障害その他の理由により試験を受ける能力に問題がある場合は、CBAP®試験の実施手続きに対して特例を申し出ることができる。この要請は、妥当なものでなければならない。CBAP®試験の正当性や信頼性を損ねるものであってはならない。応募者がCBAP®試験の受験能力に影響する障害を持つ場合は、www.theiiba.orgから“CBAP® Exam Special Accommodation Form”（CBAP®試験特別措置申込書）をダウンロードして記入し、上述の宛先まで郵送する。

d. 料金

1. IIBAの会員・非会員を問わず、どの応募者も、出願料は125米ドルである（カナダ居住者にはGST（物品サービス税）が加算される）。IIBA宛の小切手または国際為替で支払うこと。これは、出願手続きと審査の代金である。出願に必要なものであり、いかなる事情があろうと返金はしない。出願料の支払いのない場合は審査の対象とならない。オンライン出願の場合は、クレジットカードで出願料を支払うことができる。

2. 受験料は、IIBA会員が325米ドル、IIBA非会員が450米ドルである（カナダ居住者はGSTが加算される）。IIBA宛の小切手または国際為替で支払うこと。IIBA会員料金での支払いは、応募者が出願時に会員である場合に限る。それ以外の場合は、非会員料金を支払う。これは、試験を受験する代金である。

注）ペーパー試験の場合は、座席数に制限がある。座席は先着順で確保する。また、試験に合格しなかった場合でも、受験料は返金しない。現時点では、クレジットカードによる受験料のオンライン支払いは受け付けていない。

3. 書類による出願の場合、出願書類一式は、Webサイトに記載した宛先まで送付する。

注）応募者の責任において、IIBAが確実に出願書類一式を受領できるようにすること。受領していない出願書類（郵送・宅配）について、IIBAでは一切責任を負わない。

8. オンライン出願の場合は、出願書類がIIBAに送信されたことを示すメッセージが画面に表示される。書類による出願の場合は、出願書類の到着後2週間以内にIIBAから応募者に書類の到着を通知する。

9. IIBAでは、出願書類が揃っていること、および、CBAP®認定の資格要件を満たしていることを審査する。

10. 出願書類の到着後21営業日以内に、IIBAから応募者に、出願書類の審査結果を電子メールで通知する。

11. 出願書類が受理された場合は、その時点でCBAP®試験の受験資格を得る。

注）応募者は、出願書類が受理されてCBAP®試験の受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に、CBAP®試験に合格しなければならない。受験資格が失効しないように、応募者の責任において注意すること。受験料を支払っていない応募者は、www.theiiba.orgから“CBAP® Exam Fee Form”（CBAP®試験受験料フォーム）をダウンロー

ドして記入のうえ、受験料を同封して、受験登録に先立って送付しなければならない。

12. 出願書類が却下された応募者にはCBAP[®]試験の受験資格はない。出願書類が受理されなかった理由は、審査結果を通知する電子メールに記載されている。出願書類とともに受験料を支払った場合には、受験料のみ返金される。
 - a. 応募者は、出願書類の却下を通知する電子メールを受領してから3ヵ月を経過した後で、却下理由を修正のうえ再度出願できる。
 - b. 応募者は、出願書類の却下という審査結果に対して異議を申し立てることができる。出願審査の結果に対する異議申し立ての手続きとフォームについては、www.theiiba.orgを参照すること。
13. 出願書類および受験料がIIBAに受理されたあとで、次の2つの方法のどちらかを選択して、CBAP[®]試験の受験登録を行う。
 - a. **専用テストセンターでのCBT試験（コンピュータによる試験）**

テストセンターの一覧は、www.theiiba.orgを参照すること。CBAP[®]試験の受験資格を得たことを通知する電子メールを応募者が受け取ってから1ヶ月以内に、Castle Worldwide社から応募者宛に、受験許可を通知する電子メールが送られる（件名：Notice to Schedule CBAP[®] Examination）。その電子メールに記載されているユーザーIDとパスワードを使って、受験するCBTのテストセンターと受験日をオンラインで選択して登録する。ほとんどの専用テストセンターには受験日時の月次予定があるので、そこから選択する。北米のテストセンターの場合は、受験日の7日前までに登録する。他の地域の場合は、確実に座席を確保するために、受験日の60日前までに登録することが望ましい。応募者が居住する地域または近隣の地域がWebサイトの一覧にない場合は、certification@theiiba.org宛に電子メールで他の選択肢を問い合わせること。応募者がオンラインで登録を完了すると、ほぼ即座にCastle Worldwide社から登録確認通知の電子メールが送られる（件名：IIBA-Scheduling Confirmation Notice）。この電子メールは、応募者が受験を許可されたことを示すもので、受験要領が記載されている。
 - b. **ペーパー試験**

ペーパー試験の予定は、www.theiiba.orgに記載してある。出願書類が受理された応募者からの受験要請に対して、座席が確保できた場合は登録され、登録内容が電子メールで通知される。受験日の約2週間前に、応募者に対してCastle Worldwide社から受験許可の電子メールが送られる。その電子メールに受験要領が記載されている。
14. CBAP[®]認定プロセスの最終ステップは、応募者がCBAP[®]試験を受験して合格することである。CBAP[®]試験は、*BABOK[®]ガイド*に基づいた総合的な最終試験であり、ビジネスアナリシスに関する知識を客観的に測定して評価するように作成されている。
15. CBAP[®]試験に合格すると、応募者はCBAP[®]として認定され、CBAP[®]資格保有者となる。
16. CBAP[®]試験に合格できなかった応募者は、出願書類が受理されて受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に1度に限り再受験できる。ただし、最終受験日が

ら3ヵ月間は、再受験できない。

- 連絡先の情報（電子メールアドレスなど）に変更があった場合、応募者の責任において、certification@theiiba.org宛に電子メールで連絡すること。認定チームに連絡先の情報の変更が伝わらない場合、情報が伝達できないことになる。

注) IIBAからの電子メール連絡が、不注意によりブロックされたり、スパムフィルタが迷惑メールフォルダに振り分けてしまうことがあります。応募者は、certification@theiiba.orgを電子メールプログラムの個人アドレス帳に登録して、IIBAからの、特に認定チームからの認定プログラムに関する重要なメッセージを確実に受け取ることができるようにしてください。

6.1 受験キャンセルポリシー

受験日を変更する必要がある場合は、次のキャンセルポリシーを適用します。

- CBT試験の場合
 - 通知の有無にかかわらず、すべてのキャンセルに対して、Castle Worldwide社のCBT受験キャンセルポリシーによりキャンセル料金が発生する。キャンセル料金として、同社に50米ドルを支払う。
 - 登録した受験日に先立つこと5営業日より後にキャンセルした場合、あるいはCastle Worldwide社にキャンセル料金を支払わない場合は、払い込み済みの受験料（325米ドルまたは450米ドル）は返金されず、全額がIIBAの予定変更手数料となる。
 - 当キャンセルポリシーあるいは受験日変更ポリシーに対する例外は、緊急事態が立証できた場合に認められることがあります。その場合、(919) 572-6880でCastle Worldwide社に直接連絡して援助を求めてください。
- ペーパー定期試験の場合は、できるだけ早くIIBAに通知すること（電子メールの宛先：certification@theiiba.org）。登録した受験日から30日以内に通知した場合、IIBAの予定変更手数料として、55米ドル（カナダ居住者はGSTを加算）が応募者に請求される。

6.2 試験対策のアドバイス

以下は、CBAP[®]試験の対策に関するIIBAからのアドバイスです。ただし、このアドバイスに従うことが試験合格を保証するものではないことにご留意ください。

- IIBAのBABOK[®]ガイドを見直す。
- IIBAのWebサイト上のFAQを見直す。
- IIBAのWebサイト上で推薦しているリソースを見直す。
- 必要に応じて教育・研修を受ける。
- 日々の業務の中で、BABOK[®]ガイドに従ってタスクを実践する機会を見つける。
- ビジネスアナリシスに関するメンターを見つける。
- 研究会に参加する。
- IIBAフォーラムでネットワークを広げる。地方のIIBA支部ミーティングに出席する。

- 入手できる学習参考書を見直す。

CBAP[®]試験の時間は3.5時間で、4つの選択肢の中から解答する多項選択式の問題が150問出題されます。「全般的な知識を問う問題」（たとえば、定義や基礎知識など）と、「状況分析問題」（たとえば、あるシナリオのもとではどういう行動が最適かを問う）とがあります。後者の場合、応募者が答えに到達するには多少の分析が必要になります。特定の種類の問題だけが出題されることはなく、Blooms分類（訳注：試験問題の分類法）の範囲を網羅しています。

現在の出題内容は下表のとおりで、*BABOK[®]ガイド*のVersion 2.0に基づいています。

知識エリア	出題の割合
ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	19.33%
引き出し	14%
要求のマネジメントとコミュニケーション	16%
エンタープライズアナリシス	15.33%
要求アナリシス	19.33%
ソリューションのアセスメントと妥当性確認	16%

上記の出題の割合には丸め誤差があるため、合計しても100%にはならないことにご注意ください。

6.3 試験当日の手続き

試験会場には、次のものを持参してください。

- CBT試験を受験する場合は、受験許可通知または登録確認通知。
- 現在の写真と署名のある身分証明書（たとえば、運転免許証、入国カード、パスポート、州発行身分証明書など）。適切な身分証明書を持たない応募者は受け付けない。
- ペーパー試験を受験する場合は、消しゴムと尖ったHB鉛筆2本。
- 定刻に到着すること。CBT試験では、登録確認通知に到着時間が記載されている。ペーパー試験では、試験開始時間の30分前から受付を開始する。少なくとも30分前には到着すること。

6.4 試験結果の通知

CBT試験の場合は、試験終了後すぐに得点がわかります。応募者は答案を送信後、数分以内に画面で結果を見ることができます。ペーパー試験の場合は、受験日から30日以内に試験結果を採点し、集計します。この30日の直後に、試験の合格・不合格が電子メールで通知されます。試験に不合格だった応募者には、その電子メールで、注意を要する知識エリアに対するガイダンスが提供されます。

6.5 CBAP®認定の授与

CBAP®試験に合格した応募者は、CBAP®として認定され、CBAP®資格保有者となります。さらに次のことが行われます。

- CBAP®試験結果の通知後、電子メールがもう一通届く。その電子メールで、CBAP®のロゴとレターヘッド、そしてその標準利用ガイドが送られて来る。
- この電子メールで、CBAP®の証明書と証明カードが入った認定キットがCBAP®合格者にいつ届く予定であるかが通知される。このキットは、少なくとも四半期ごとに作成して送付する。
- 全CBAP®合格者の一覧をIIBAのWebサイトに公開する。合格者の氏名、住所（市、行政区・州・準州）、および認定日を掲載する。

6.6 CBAP®試験の再受験

CBAP®試験に合格できなかった応募者は、出願書類が受理されて受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に1度に限り、再受験できます。ただし、最終受験日から3か月間は再受験できません。さらに次のことにご注意ください。

- 再受験料は、IIBA会員は250米ドル、IIBA非会員が375米ドルである（カナダ居住者はGSTを加算）。応募者がCBAP®試験の再受験を申し込む場合には、www.theiiba.orgから“CBAP® Exam Re-Write Registration Form”をダウンロードし、それ記入して、再受験料を添えて上述の宛先まで送付する。CBAP®試験の座席数には限りがある。座席は先着順で確保する。IIBAが再受験料を受け取るまで、受験登録は行われない。
- 1年以内に受験して合格しない場合は、再出願が必要になる（出願料と受験料の全額支払いが必要になる）。

6.7 CBAP®認定の維持と資格更新

すべてのCBAP®資格保有者は、認定を維持するために、能力維持の要件を満たす必要があります。能力維持は、認定プログラムの品質を示す重要なベンチマーク項目の1つです。CBAP®認定は、3年ごとに更新しなければなりません。

“CBAP® Recertification Handbook”（CBAP®資格更新ハンドブック）と関連フォームは、IIBAのWebサイトで公開しています。

6.8 CBAP®認定の停止または取消し

IIBA認定機関では、職業上の不正行為またはCBAP®ロゴの不正使用の報告を受けた場合、それを確認した後、CBAP®認定を任意の時期に取り消す権利を有します。さらに、認定後に監査を任意に実施する権利も有します。認定が停止または取り消された場合、支払い済みのいかなる料金も返金しません。認定取消しを受けたCBAP®資格保有者は、一定期間はCBAP®認定に再出願できません。

6.9 応募者とCBAP®資格保有者の情報に対する監査

応募者およびCBAP®資格保有者は、IIBA認定機関から、出願書類に記載した情報の正当性を確認する要求を受けることがあります。応募者およびCBAP®資格保有者の責任において、出願書類に記載した情報を証明できるものを用意して提示してください。

6.10 異議申し立ておよび苦情への対応

CBAP®資格保有者およびCBAP®認定応募者は、IIBA認定機関の意に沿わない行動や審査結果、または決定に対して見直しを要求することができます。IIBAは、異議申し立てや苦情を調査して、その対応を通知します。

出願書類の却下という審査結果に対する異議申し立ての場合は、IIBAのWebサイトの“Application Appeal process”（出願審査結果異議申し立て手続き）と“Application Appeal Form”（出願審査結果異議申し立てフォーム）を利用してください。このフォームに記入した後、certification@theiiba.orgまで電子メールで送ってください。

CBAP®認定の不合格という試験結果に対する異議申し立ての場合は、certification@theiiba.orgに連絡してください。折り返し、“Examination Appeal form”（試験結果異議申し立てフォーム）をお送りします。それに記入してください。この申し立てに試験結果の再採点が含まれる場合は、65米ドルの再採点料が必要です。IIBAは、この料金を受け取るまでは再採点を実施しません。

7.0 専門家としての職業責任

CBAP®資格保有者には、この節で示すビジネスアナリシスの専門家としての職業的責任がありません。

7.1 組織のすべてのルールとポリシーの順守

- CBAP®認定プログラムに直接または間接に関連するすべての情報に関して、正確かつ真実の説明を行う責任（出願、試験項目、試験、解答用紙、応募者情報、およびCBAP® CCRプログラム報告用紙などを含む）。
- 適切かつ明確な事実を根拠として、ビジネスアナリシスの場におけるCBAP®行動規範に対する個人の違反の可能性を報告する責任。
- 行動規範違反および関連情報の収集に関してIIBA認定機関に協力する責任。
- 利益相反または不適切であると思われる重大な状況が存在する場合、それをクライアント、顧客、所有者、または契約者に対して開示する責任。

7.2 専門家としてのプラクティス

- 資格取得、業務経験、サービス実績に関する広告や表現に、正確な真実を示す責任。
- 十分な能力をもち資格を有するサービスだけを提供する責任。
- ビジネスアナリシスのサービスを提供する際に、専門家としてのプラクティスを律する州・行政区・地方の法規制および倫理基準を順守する責任。

- 与えられた信頼と権利を尊重する責任。

7.3 専門職の地位向上

- 成果である知的所有権または他者がもつ知的所有権を認識し、尊重する責任。また、すべての専門業務と研究活動に従事する際に、正確かつ誠実かつ完全な行動をとる責任。
- CBAP®行動規範を伝え、普及する責任。
- 専門職の地位向上のために、最高の能力をもつビジネスアナリシス専門家を支援する責任。他の条件が同等であれば、認定された専門家で、この原則を順守している専門家を優先する。ビジネスアナリシス専門職の地位を低下させるような言動を取る者、もしくは評判をもつ者と職業的な関わりをもつことを避ける。
- 悪意や無関心により、他の専門家の評判を傷つけないように留意する責任。
- スキルと知識を最新に保ち、能力を維持する責任。
- 他者の教育・訓練に十分な時間と知識を提供する責任。

7.4 クライアントと社会に対する責任

7.4.1 資格、経験、および専門家義務の遂行

- 広告を行う場合、公共の場で発言を行う場合、あるいは費用やサービスや期待される結果に関する見積もりを用意する場合、名誉に恥じない合法的な行動を取り、正確な真実を表明する責任。
- 十分な能力をもち、資格を有するサービスだけを提供する責任。
- 専門家としてのサービスのスコープと目的を満足させ維持する責任。
- 専門家としての活動を通して入手した機密情報を保護し尊重する責任。そうでない場合も、明白な義務が存在する場合、機密情報を保護し尊重する。
- システム、アプリケーション、および情報の価値を守る責任。
- 与えられた信頼と、その信頼に伴う権利を尊重する責任。

7.4.2 利益相反およびその他の専門職として禁止される状況

- 利益相反により、クライアントまたは顧客の正当な利益を危うくしないことを確実にする責任。あるいは、専門家としての判断に影響または干渉しないことを確実にする責任。
- 不適切な支払い、贈り物、または他の形による個人的利益の補償の提供や受領を行わない責任。ただし、ビジネスアナリシスのサービスを提供している国で適用される法に準拠し、顧客の指示による場合は別とする。